

「海外確定拠出年金の資産運用に関する 調査研究報告書」公表

公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
(<http://www.nensoken.or.jp/>)

年金に関する専門研究機関である公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区、理事長 高山憲之）は、「海外確定拠出年金の資産運用に関する調査研究報告書」を公表しました。

<要旨>

予め定められた給付算定式に沿って年金額が決まる確定給付型年金（DB 年金）とは異なり、確定拠出型年金（DC 年金）では加入者個々人の資産運用の成果の差が、将来の年金額にそのまま跳ね返ってくる制度であるため、DC 年金における資産運用の重要性は高いものとなっている。

海外の DC 年金における株式組入比率の高さは、ターゲット・デート・ファンド（TDF）を中心としたバランス型ファンドの組入比率の高さによるところも大きく、DC 年金の加入者が運用対象を選択しなかった場合に割り当てられるデフォルト商品に TDF などのバランス型ファンドが指定されていることが多いことも、株式組入比率に少なからず影響している。

また、海外の DC 年金では、デフォルト商品を加入者の年齢等に応じて資産構成比率を変化させるライフサイクル型の金融商品に変更する例が多く見られている。

本報告書は、今後の DC 年金の制度や運用の改善を検討するための資料の一つとして、海外における DC 年金の状況を「資産運用」という視点を中心に調査を行いまとめたものである。

※報告書は当機構 HP(<http://www.nensoken.or.jp/publication/research/>)より無料で閲覧頂けます。

【お問い合わせ】 〒108-0074 東京都港区高輪 1 丁目 3 番 13 号 NBF 高輪ビル 4 階
公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
(担当) 研究部 主任研究員 樺山和也
(電話) 03-5793-9412 (E-Mail) k-kabayama@nensoken.or.jp

《目次》

第1章 確定拠出型年金の資産運用

- 1 確定拠出型年金（DC年金）の資産運用
- 2 株式組入比率
- 3 デフォルト商品のライフサイクル化
- 4 投資選択オプション
- 5 確定拠出型（DC）年金の拡大

第2章 ターゲット・デット・ファンド

- 1 ターゲット・デット・ファンドの概要
- 2 米国における TDF
- 3 TDF のパフォーマンス

第3章 中南米の DC 年金

- 1 チリ
- 2 メキシコ
- 3 ペルー
- 4 コロンビア

第4章 中東欧諸国の DC 年金

- 1 ポーランド
- 2 ラトビア
- 3 エストニア
- 4 リトアニア
- 5 クロアチア
- 6 ブルガリア

第5章 アジア・アフリカ諸国の DC 年金

- 1 香港
- 2 マレーシア
- 3 インド
- 4 ナイジェリア

第6章 先進諸国の DC 年金

- 1 オーストラリア（Superannuation）
- 2 ニュージーランド（KiwiSaver）
- 3 英国（NEST）
- 4 スウェーデン（PPM）
- 5 アメリカ

以 上